



東北教区婦人会だより

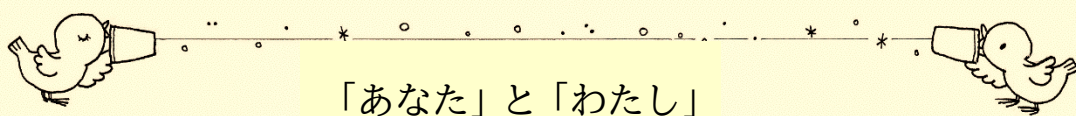
指 導 聖 句

私は、こう祈ります。あなたがたの愛が、深い知識とあらゆる洞察を身に着けて、ますます豊かになり、本当に重要なことを見分けることができますように。

そして、キリストの日には純粹で責められるところのない者となり、イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされて、神を崇め、賛美することができますように。(聖書協会共同訳 フィリピの信徒への手紙 1:9-11)

目 次

- | | | |
|-------|----------------------------|----------------|
| P.1 | 「あなた」と「わたし」 | 司祭 ステパノ 越山 哲也 |
| P.2 | 北海道教区婦人会総会に参加して | 会長 赤坂 康子 |
| P.3 | カナンの園訪問記 | 副会長 坂水 かよ |
| P.4 | カナンの園を訪問して 教役者聖職候補生後援会 | 委員長 小沼 義雅 |
| P.5~7 | 日本聖公会婦人会第27(定期)総会後第1回会長会報告 | 会長 赤坂 康子 |
| P.8 | 総会後第1回会長会に参加して | 書記 越山香菜子 |
| P.9 | 教区婦人会 ★会計からのお願い | 会費、献金の振込先、お知らせ |
| | 編集後記、教区婦人会役員会連絡先 | |



司祭 ステパノ 越山哲也

「人々は、人の子のことを何者だと言っているか」とお尋ねになった。弟子たちは言った。『洗礼者ヨハネだ』と言う人も、『エリヤだ』と言う人もいます。ほかに、『エレミヤだ』とか、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。すると、イエスはお答えになった。「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。」（マタイによる福音書 16:13-16）

ある出来事について意見を求める場合、「それはみんなが言っています」とか「あの方々が言っています」という返答をすることがあります。私もそういう回答をすることがあります。でも思うのです。「みんなって誰?」「あの方々って誰?」スマートホンが普及し、インターネット上で SNS を用いて身近な人だけではなく世界中の人々と誰とでも気軽に交流が出来る時代です。同時に全く面識のない人がその素性を明かさずに過ちを犯してしまった人を誹謗中傷して追い込んでいくことが常態化しています。

自分の意見を皆の前で表明するのは人によって得手不得手はあると思いますが勇気がいることです。特に、みんなが言っていることと違う意見を言うことはとても勇気のいることではないでしょうか。

冒頭のみ言葉は、イエス様が自分の事を何者だというのか弟子たちに問うた時にペトロが「あなたはメシアです」と「わたし」の思いを語り、主は彼を祝福します。イエス様は「あなた」と「わたし」の関係を大事にされたお方です。福音書に記されている数々の出会いの物語、奇跡物語は極めて個別固有の出来事です。「あなた」と「わたし」の物語が多くの人々の心に響き普遍的な物語となっていくのです。

ですから最初は小さな一歩、小さな出来事でいいのです。「あなた」と「わたし」の関係からすべては始まるのです。丁寧な対話、応答があると私はとても嬉しいです。皆さんはいかがですか?どんなに時代が変わっても、私たちが年齢を重ねても「あなた」と「わたし」における関係性を大切にしていきたいと思います。その関係性は良好な時もあればそうでない時もあることでしょう。そんな時はどうか「わたし」の思いだけではなく「あなた」の思いにも心を寄せることが出来るといいですね。



北海道教区婦人会総会に参加して

東北教区婦人会 ソフィア 会長 赤坂康子

9月7日(木)北海道教区婦人会総会に傍聴者として参加させていただきました。教区婦人会役員の引き受け手がなかなか決まらなくなってきた頃から、北海道教区婦人会と共に活動ができないで
あろうか、という案がちらほらと聞かれておりました。そのような中、宣教協働区を考えていく「チーム北国」が結成され、北海道教区と東北教区の交流が始まりました。婦人会にとっては良い機会です。6月の横浜での日本聖公会婦人会の会長会で、北海道教区婦人会会長の神林さんにお会いした際、「総会を見学させていただきたい」とお伝えしたところ、「どうぞ」と快いお返事をいただき、今回思い切って参加させていただきました。

総会の前日に盛岡から新幹線に乗り、私は40年振りの北海道。初めて青函トンネルを通り、北海道に着きました。新函館まで2時間の速さで着いたこと、「海深230メートルの通過」のアナウンスにびっくりしました。

札幌キリスト教会は駅から5分程、北海道大学の広い敷地の横にあり、緑に囲まれた教会でした。大きな窓から見える秋の紅葉も美しいそうです。10時からの開会礼拝は笹森田鶴主教様の司式、植松 誠主教様のお説教でした。可能性は無限大、それぞれの賜物が捧げられてバランス良く整えられていく、と婦人会への心強いエールをいただきました。そして最後の聖歌533番の歌詞、「主に開こう 心すべて 新たな風に向い」を歌いながら希望が湧き、喜びで胸がいっぱいになりました。4年振りの総会とのことで、あちらこちらから「まあー、お元気でした?」とうれしそうな声が聞こえていました。

1階の集会所でお弁当をいただき、再び2階の礼拝堂にて総会が開かれました。代議員は会衆席の前方に座り、12教会から2名ずつ出席され、80名程の参加でした。諸報告が成され、2022年の日本聖公会婦人会総会諸決議、被献日献金活用申請報告、2023年総会后第1回会長会緒決議、被献日献金活用申請報告がされていました。

議案審議では、会計に関して、「会員減少に伴い分担金は減少しているが、諸献金は小さい教会でも余り減ることがなく送って下さっている。寒い北海道で、教役者に暖かい手袋一つでも、とクリスマスプレゼントを続けている。「分区集会の婦人の集い」についても、教区婦人会としては交わりと親睦を続けてほしいので支援を行う。やめてしまうのは簡単だけれど続けていくことの大切さを考え、予算に組み込んだ」と会長より説明がありました。

感謝箱献金の使途に関する件の議案が5件、一食献金の使途に関する件が4件も提案されていて、必要とされる方々のために皆で考えて実行していて、素晴らしいなと思いました。最後の議案は役員選挙、今まで個人名での会長選出であったのが、今回は教会名での選出を提案されました。この議案も承認され、会長含む役員会は「札幌キリスト教会」にバトンタッチされました。会長だけが大変にならないように皆で役を担っていきましょう、と代議員の方々が決意されていらっしゃいました。

隅の方で傍聴させていただくつもりでしたが、留萌からご出席の木村夕子司祭様のお隣席で、会議の合間にはいろいろとお話を伺うことが出来、皆さまからも温かい歓迎を受けました。今後も北海道教区婦人会と交流させていただき、素晴らしい活動に刺激を受けながら、東北教区婦人会も広がり可能性を考えていきたいです。北海道教区婦人会をより身近に感じながら。主に感謝!





カナンの園訪問記

東北教区婦人会 副会長 アイリン 坂水かよ

私たち東北教区婦人会では長く、感謝箱献金のお献げ先の一つとしてカナンの園への支援を続けてきました。たくさんの金額の支援は喜ばしいことですが、何よりも「心を寄せる支援」を大事にしたいと思います。相手を知り顔が見える関係を築いていくために、ぜひカナンの園の見学をしたい！その思いで今回の「カナンの園訪問」が実現しました。教役者聖職候補生後援会にもお声をかけ、快諾をいただいて共同開催として総勢34名（仙台5名、八戸7名、盛岡22名）が奥中山に集いました。

◇8月26日（土）の日程

10:10 盛岡駅集合/出発



今日の気温 34℃



11:30 奥中山教会到着・八戸一行様と合流



11:45 礼拝→12:15 楽しいランチタイム→ 13:30 多機能型事業所「小さき群れの里」見学

14:45 三愛学舎（高等部）を經由→15:00 産直・八戸の皆さんとお別れ→16:25 盛岡着・解散

◇「奥中山教会」について

「戦後、奥中山に入植した開拓団の要職にある方々3名が偶然にもクリスチャンであり、その方々の祈りのうちに奥中山教会が誕生。後に、その中のお一人がご自身が開拓した土地を福祉事業のためにと献げられた。」そのことがカナンの園誕生に結びついていくのですが、県北に「知的障がい者施設」ができることに地域の方々は当初、戸惑いと不安を持ったそうです。しかし最終的に、「教会さんがやることだから大丈夫だろう」と理解を得たのだそうです。奥中山教会はまさに「開かれた教会」なのだと強く心に響きました。

◇「楽しいランチタイム」メニュー

カナパンを始めとして奥中山の朝採り新鮮野菜もいろいろ、新じゃがバター、奥中山ヨーグルト、菊池牧場のソーセージ等々、たくさんのおもてなしをいただきました。あんまり美味しかったので帰りに立ち寄った産直で、パンや野菜等々をたくさんお買い物をすることに。



◇「小さき群の里（多機能型事業所）」の見学

1980年に成人のための入所更生施設として開設されましたが、生活の場を少人数化・小規模化を図ってグループホームなどに移行し、地域での生活ができるように支援してきました。

2018年に現在の建物に生まれ変わり、利用者一人ひとりの特性を活かしながら日中の労働や活動の場として利用者を支えています。この全面改築にあったっては、私たちの感謝箱献金からもお献げをしいていただきました。（※毎年立教大学生がワークキャンプに訪れています）

◇この度佐藤真名さん（カナンの園元事務局長/法人事務局専門員）に計画から当日までの全てをコーディネートをしていただき、終始温かく受け入れていただきました。真名さん曰く、「私はここにいるのが好きなのです」私達にとっては“捧げる”を実践している人との出会いの時でもありました。感謝！

ありがとうございました。

集合写真 （略）





カナンの園を訪問して

教役者聖職候補生後援会
委員長 小沼 雅義

先日、教区婦人会との共催で、カナンの園を訪問することが出来ました。この訪問は聖職候補生後援会との共催とは名ばかりで、すべて教区婦人会主催（盛岡）に便乗した感がありました。しかし、今回の企画は様々なお恵みと新たな可能性があった様に思っております。

さて、八戸聖ルカ教会は 6 年前に隣人である盛岡聖公会との合同礼拝を、奥中山教会をお借りしてお捧げ致しました。礼拝後、弘前出身でカナンの園に長年お勤めされた一戸舒也さんから、園のご説明を丁寧に頂きながらも、残念ながら施設を訪問できずにおりました。

当日、佐藤真名元事務局長さんが、私たちを教会の入り口で出迎えてくださり、越山司祭様の司式、香菜子さんの奏楽で礼拝が捧げられました。その後、佐藤さんから開設から 50 年の歴史をお聞きし、施設を見学させていただきました。小さき群れの里ホール壁に掲げられている奥中山の風景画、「春夏秋冬」は残り三面の白い壁（雪深い）と繋がっていると話され、その物語はとても印象的でした。この地で様々な困難と言い尽くせない苦難を、祈りと折々に手を差し伸べて下さった多くの助けにより乗り越えて、今があるのだらうと深く感銘いたしました。

社会的にマイノリティの人がコロニーから地域へと、地域を支える住民として認知されて来ている、これまでの弛まぬご努力をされてこられた関係者の皆様に、また、この企画を立てられた赤坂会長と盛岡のスタッフの皆様にも感謝申し上げます。上よりのお恵みが益々豊かにありますように。

緑に囲まれた奥中山教会



「小さき群れの里」ホールの壁に掲げられている奥中山の風景画
【春夏秋冬】の羊毛のタペストリー

とても素敵です！
皆様もカナンの園へいらした時は是非、ご覧になってください。

日本聖公会婦人会第 27（定期）総会後第 1 回会長会議事報告

東北教区婦人会会長
ソフィア 赤坂康子

6 月 20 日、21 日に横浜聖アンデレ教会にて本聖公会婦人会第 27（定期）総会後第 1 回会長会が開催されました。出席者は各教区婦人会会長、傍聴者各教区 1 名、本会役員、感謝箱献金運営委員、横浜教区主教 入江 修様、チャプレン姜 暁俊司祭様、感謝箱献金事務局チャプレン出口 崇司祭様、ACWCJ の委員 3 名でした。永井眞由美会長による開会宣言があり、議長に副会長の鷲沢和子さんが選出されて議事に入りました。報告、議案ともに全て承認されました。

I 役員会活動報告等、感謝箱献金事務局（コア）報告、ACWCJ（アジア教会婦人会議日本委員会）報告、ACWCJ 関西支部報告

II 2022 年度会計報告 資産の部 29,198,922 円、献金預かり等の負債の部 21,325,388 円 差引純資産 7,873,534 円

1. 一般会計収入 2022 年（1 月 1 日～12 月 31 日）※実際報告を省略しています

前年度繰越金	5,593,735	備 考
分担金	1,597,400	800 円×1,948 名 1,000 円×37 名+1,000×2 名（九州教区個人会員）
利息	65	→ 個人会員分担金
収入合計	7,191,200	

一般会計支出 2022 年（1 月 1 日～12 月 31 日）※実際報告を省略しています

旅費交通費、その他支出	1,571,957
次年度繰越	5,619,243
支出合計	7,191,200



2. 特別会計収支明細書

項 目	前年度繰越金	収 入	利息	支 出	現在額
被献日献金預り金	8,193,820	1,167,967	0	650,255	8,711,532
スカラシップ積立金	1,165,452	0	0	367,620	797,832
息吹をうけて（本）	1,044,489	11,000	0	0	1,055,489
小計	10,403,761	1,178,967	0	1,017,875	10,564,853
感謝箱献金預り金	6,530,093	1,921,780	0	1,850,000	6,601,873
総会積立費	1,909,487	1,076,670	11	2,825,930	160,238
大会積立金	1,974,742		4,729	0	1,979,471
会長会積立金	1,725,719	300,000	15	0	2,025,734
災害被災者・東日本大震災被災者支援積立金	1,846,540	0	0	0	1,846,540
小計	13,986,581	3,298,450	4,755	4,675,930	12,613,856
合計	24,390,342	4,477,417	4,755	5,693,805	23,178,709

特別会計支出内訳明細

- 被献日献金 教区婦人会申請 6 万円×4 教区（京都、東北、大阪、横浜） 240,000 円
- 総会 傍聴者交通費補助 130,255 円
- 慶弔費 主教 1 名、司祭 1 名、執事 5 名（合計 8 名）按手祝 80,000 円
- 被献日献金申請 神学生枠（8 名） 367,620 円

支出合計 1,017,875 円

3. 教区別納入明細書

教 区	会員数(名)	前年比 (名)	分担金	被献日献金	感謝箱献金
東北	74	-14	59,200	60,700	90,354
北海道	200	-3	160,000	130,500	100,000
北関東	173	2	138,400	130,475	202,940
横浜	533	37	426,400	148,300	427,000
中部	102	-9	81,600	68,000	154,300
京都	187	-26	149,600	166,557	287,025
大阪	425	-22	340,000	185,030	315,103
神戸	172	-19	137,600	139,500	176,753
沖縄	82	-3	65,600	47,270	58,453
小 計	1,948	-57	1,558,400	1,076,332	1,811,928
個人会員	37	1	39,000	86,635	63,452
献金				5,000	22,400
全合計	1,985	-56	1,597,400	1,167,967	1,921,780

4. 日本聖公会婦人会第 27(定期)総会の収支報告 2022 年 6 月 15 日, 6 日 (於)ニューオサカホテル

【収入】 傍聴者参加費 595,500 円 被献日献金より 130,255 円、積立金より 2,099,260 円
 聖餐式信施 118,900 円 合計 2,943,915 円

【支出】 交通費 834,945 円 (教区代議員 18 名、傍聴者 7 名、主教 5 名、司祭執事 5 名、他)
 宿泊費 1,656,750 円、謝礼 40,000 円、決議録印刷費 168,300 円 事務交通費 97,281 円
 会議費 27,739 円 献金 118,900 円(ウクライナ人道支援のため) 合計 2,943,915 円

Ⅲ 議案審議 感謝箱献金お献げ先に関する件

議案 1 中東エルサレム教区「聖地ろうあ子どもの里」難民キャンプでの支援活動 20 万円

議案 2 ガロの女性たちの生活支援と自立を目指す「リグリマ・ジャポン」 35 万円

議案 3 ケニアのキンゲラ市にある NGO 団体「サイディア・フラハ」の活動 35 万円

議案 4 アフリカのコンゴ民主共和国にある、産婦人科医デニ・ムクウェゲ医師が運営する「バンジ」病院に必要な支援(衣料品、生活用品、コロナ対策用品などの必需品を寄贈)を日本の NPO 法人-RITA-Congo を通じて支援 20 万円

議案 5 2023 年から 3 年間、災害被災者支援金として、感謝箱献金から毎年 3 万円を積立

議案 6 「地域支援団体釜石支援センター望」への活動支援 10 万円 提出者 東北教区婦人会

議案 7 「一般社団法人すこやか会ふくしま」の活動支援 10 万円 提出者 東北教区婦人会

議案 8 「NPO 法人ワンドーム」の活動 10 万円

議案 9 「国際子ども学校」の活動のため。教材費や遠足の費用等 20 万円 提出者 //

Ⅳ. 被献日献金活用実施申請の審議 有志グループ枠の下記 2 点について

1. 大宮聖愛教会婦人会 「二つの教会をめぐる石の物語」展鑑賞会

2. 横浜教区 林間聖バルナバ教会婦人会 国立ハンセン病資料館(東京都東村山市)訪問

*以下の教区婦人会枠は、すでに役員会で審議、承認済。

- ・横浜教区婦人会～2023 年 6 月講師を招き、ヒルダ ミッションとナザレ修女会のお話。
- ・京都教区婦人会～「京都教区婦人会の運営を考える会」の報告を聞き、今後を話し合うための交通費の援助。
- ・神戸教区婦人会～神戸教区婦人会代表者会のため。
- *神学生 4 名とコア卒については役員会で審議、承認済。

V 感謝箱献金事務局からの報告（2 日目午後）

- ★「ベタニヤホーム後援会」から聖ヒルダ 会 理事長の相澤牧人司祭、ベタニヤホーム施設長の村井恵子さんよりお話を伺った。40 年を経過した施設の劣化に伴い、大規模な改修が必要となった。行政からはケアハウスへの移行を勧められ、利用者の経済的負担の少ない経費老人ホームとしての継続は認められず、改修への補助金の援助が得られない状況。建物は耐震診断では 30 年程度は心配ないということなので、利用者のある限りは続けていきたいと考え、改修事業に着手することになり支援をお願いする。（*今回の礼拝での信施金はベタニヤホームのために献げられました）
- ★「リグリア・ジャパン」ガロの衣装を着られた上澤伸子さんから画像を見ながらお話を伺いました。4 年前に仙台基督教会でお話を伺った時より、いろいろなことが、整ってきていて 2024 年 12 月のプロジェクト終了に向けてしっかりと進んでいる気がいたしました。コロナ禍もありながら、長い間ここまで続けていらしゃったことは本当に素晴らしいと思います。終わってしまうことに対して上澤さんは寂しさを感じ、ラブリーさんや、人との繋がりを大事にして、これからも何度も訪れたいとおっしゃっていました。現地の方の作品（マフラー、小物など販売していました）
- ★最後に各教区婦人会にマイクが回ってきて、今後の協働教区のこと等の話が出ました。
 - ・協働教区に関しては、婦人会は自立した外郭団体なので、あまり気にしないで、自分たちなりにやっていけばいいのではないかな。
 - ・教区が一緒になるが無くなるのではなく、新教区が出来るのだと考えている。
 - ・北関東教区婦人会は婦人会のない東京教区に個人会員として活動してほしいことを呼び掛けていきたいと考えている。
 - ・せっかく分かち合いで話し合いたいことのアンケートをとったのだから、ちゃんとその話題を話し合いたかった。
 - ・平日開催であったので仕事を休んで出席したが総会や会長会の日程について、考慮してほしい。
 - ・大きい教会が婦人会からの退会を考えていて残念である。会員の多くが 60 歳以上である。高齢化を悲観してもしかたがないので、出来ることをやっていきたい。
- ★「感謝箱カフェへどうぞ」の提案が感謝箱献金事務局委員長の井田涼子さんからありました。いただいたパックの中には、今までにお献げ先を示したアフリカ、アジアの地図と可愛い手作りの感謝箱献金の祈りのカード作成材料、あゆみポスター等を各教区婦人会にいただきました。この活動を広げていくために、集まって感謝箱献金のことを話題にしてみてください、とのことでした。会長会に出席し、同じ思いを持つ方々と共に捧げる礼拝、出会いはうれしく、婦人会ならではの、と思いました。会長会をご準備いただきました本役員、聖職者の方々に感謝申し上げます。各教会の婦人会の皆さまからの分担金、お献げいただく献金によって、教区婦人会、日本聖公会婦人会の活動が成されています。小さいことが集まって大きな大きな働きとなっていることを、会長会や総会実感する場所でもあることを感じて帰ってまいりました。

日本聖公会婦人会第 27（定期）総会後第 1 回会長会に参加して

東北教区婦人会書記

ミリアム 越山香菜子

東北教区婦人会役員になってまだ間もなく、まだまだ初心者ではありますが、去る 6 月 20 日（火）～6 月 21 日（水）にかけて横浜聖アンデレ教会を会場に行われ、私は傍聴者として参加してまいりました。



まずは、各教区の代表者が出会って、祈りを共にすることの力の大きさを感じました。

また、活動報告を聞いて役員を担っておられる方々のコロナ禍での計り知れないご苦勞を思いましたが、支援が必要なところに献金をお送りする活動が続けられていたことに、感服いたしました。

1 日目のプログラムでは、被献日献金活用申請の審査があり、私たちがお捧げしている献金先が、字面で追うよりも目に見える形で分かったこと、政情不安定な国の状況、自然災害、教育が必要な子どもたち、医療支援、また立場の弱くされている方々のことを知り、その方々のために祈り、献金することの大切さを改めて感じることができました。

また感謝箱献金に関しては、婦人会だけではなく教会全体として取り組んでおられる教区もあり、とても良いなと思いました。

2 日目に設けられた分かち合いの時間では、協働区に向けての動きと今後の婦人会の方向性についてシェアし、様々な事情で婦人会がない教区もあり、それぞれの状況に合わせて考えていく必要があることを感じました。

私たちの根本的な活動は、立場の弱くされている方々の祈りと献金ですが、全体的に会員数減少や高齢化は積年の悩みとなっており、また今は昔と違い、それぞれのライフスタイルが変わっていることなどを踏まえて、時代に合わせた活動の必要性を感じ、神様が婦人会に何を望んでおられるのか、今後の方向性を祈りつつ、急速に考えていかないといけないことだと強く思いました。



聖アンデレ教会の帰り道、美しく咲いていたアガパンサス（愛の花）



★お知らせ

- ・大阪教区婦人会成立 100 周年記念聖餐式の案内が届きました。
2023 年 11 月 3 日大阪教区主教座聖堂 川口基督教会 おめでとうございます。神さまの祝福をお祈りいたします。
- ・ベタニヤホームの大規模改修の寄付のお願いが日本聖公会婦人会会長会議の際、各教区婦人会に呼びかけがありました。詳しくは同封しましたお願い文をご覧ください。よろしく願いいたします。

★ 会計係からのお願い ★

2023 年度の会費（2500 円）・諸献金を 11 月中旬までにお振込みくださいますようお願いいたします。

今年度は、振込のご負担を少しでも軽減するため、口座番号等の印字と、送金手数料を教区婦人会負担用に『赤色の振替用紙』を先日各婦人会、個人会員様宛にお送りいたしましたのでご利用ください。できるだけまとめていただき、送金の内訳と合計金額を記してお振込みくださるようお願いいたします。

※ご注意・・・窓口より現金でご送金されますと手数料がかかりますが、
ゆうちょ銀行通帳からのご送金は無料です。

[東北教区婦人会 送金先] ゆうちょ銀行 （—————）
振替口座名義 日本聖公会東北教区婦人会

※「敬老の日献金」関しましては 9 月 10 日付けで各教会にお願いが届いています。
献金先が東北教区婦人会とは別になりますのでよろしくお願いいたします。

[敬老基金運営委員会 送金先] ゆうちょ銀行 （—————）
振替口座名義 日本聖公会東北教区婦人会 敬老基金運営委員会

★東北教区婦人会の感謝箱献金から 2023 年度にお献げしたい先が
ございましたら、役員までお知らせください。

個人会員を募集！

教区婦人会から離れた教会、また元婦人会員でない方でも、東北教区婦人会の働きに賛同なさる方は、どなたでも個人会員として入会できます。下記連絡先まで。お待ちしております。

編集後記：

危険な猛暑と各地に起こる災害級の大雨が気になりながらも、朝夕の涼風によりやうやく秋の訪れを感じるようになりました。あちこちからお祭りの賑わいが届くようになり、以前の活気が徐々に戻ってきたように思います。婦人会の集会の様子からも、直に顔を合わせられるようになって、分かち合える喜びや活力が湧くきっかけを得られる瞬間が伝わります。編集にご協力いただきました皆様、有難うございました。（高山 瞳）

東北教区婦人会連絡先

事務局 〒020-0021 盛岡市中央通 3-14-14 盛岡聖公会内 司祭 越山哲也【電話】019-653-0812